



Fiery proServer 8.0 Setup Guide

© 2024 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2024年9月8日



目次

| | |
|--|----|
| はじめに | 5 |
| ソフトウェアの設定 | 6 |
| ソフトウェアアップデート | 6 |
| Fiery XF server のアップデートのダウンロードおよびインストール | 6 |
| Command WorkStation と Color Profiler Suite のアップデートのダウンロードおよびインストール | 7 |
| サーバーにログオンする | 7 |
| メディアプロファイルをインストールする | 7 |
| プリンターの追加 | 8 |
| ネットワークプリンターの設定 | 9 |
| ネットワークプリンターの設定とプリンターへのファイルのアップロード | 9 |
| ファイルへの印刷プリンターを設定する | 10 |
| メディアを設定する | 11 |
| ワークフローの設定 | 11 |
| Fiery proServer システムのバックアップ/復元 | 13 |
| Fiery System Tools | 13 |
| Fiery proServer システムのバックアップ | 13 |
| Fiery proServer の復元 | 14 |
| Fiery proServer を工場出荷時の状態に戻す | 15 |
| USB メディアキットを使用した Fiery proServer Premium システムソフトウェアの再インストール | 15 |
| USB メディアキットを使用した Fiery proServer Core システムソフトウェアの再インストール | 16 |
| ウイルス対策ソフトウェア | 18 |
| Fiery proServer のトラブルシューティング | 19 |
| Fiery proServer は正常に起動するか | 19 |
| Fiery XF server は実行中か | 19 |
| プリンターへの接続は正しく設定されているか | 19 |
| ネットワークが機能しているか | 20 |
| 隠しファイルを表示する設定が選択されているか | 20 |
| JobFolder フォルダーは共有されているか | 21 |
| 出力フォルダーまたはエクスポートフォルダーが共有されているか | 21 |
| インターフェイス接続の確認 | 21 |

はじめに

本書では、Fiery proServer を接続して設定し、設置後に良好な動作状態を維持する方法について説明します。
本書では、以下のトピックについて説明しています。

- Fiery proServer ソフトウェアのアップデート
- Command WorkStation の設定
- Fiery proServer システムのバックアップ/復元
- ウイルス対策ソフトウェアのインストール
- トラブルシューティング

ソフトウェアの設定

Fiery proServer は、Fiery XF server と Command WorkStation がインストールされた状態で出荷されています。

ライセンスをアクティベートした後、Fiery proServer を再起動すると、Fiery XF server と Command WorkStation が自動的に起動します。

Windows タスクバーにある **Fiery Server Control** アイコンは、Fiery XF server が実行中の場合、緑色の背景に白い矢印を表示します。**Fiery Server Control** で赤の背景に白いボックスが表示される場合、サーバーが実行されていないことを意味します。この場合は、**Fiery Server Control** を右クリックし **Fiery サーバの再起動** をクリックして、Fiery XF server を再起動することができます。

メモ: Fiery では、オンラインソフトウェアアップデートを定期的に提供しています。Command WorkStation を設定する前に、最新バージョンを実行していることを確認することをお勧めします。

ソフトウェアアップデート

Fiery では、Fiery XF サーバーやソフトウェアコンポーネント（Command WorkStation や Color Profiler Suite など）向けの定期的なオンラインアップデートを提供しています。ソフトウェアのアップデートを確認し、使用しているソフトウェアが最新の状態であることを確認します。

Fiery proServer がインターネットに接続されている必要があります。コンピューターに最新バージョンのソフトウェアがインストールされていることを必ず確認してください。

- Fiery XF サーバー {nbh} 有効なソフトウェアメンテナンスおよびサポート契約（SMSA）がある場合、アップデートが使用可能になると Job Center ウィンドウの右上に青色の通知が表示されます。アップデートは、Fiery Server Control からインストールできます。
- Command WorkStation および Color Profiler Suite {nbh} アップデートは Fiery Software Manager でダウンロードできます。Fiery Software Manager を使用してソフトウェアアップデートをダウンロードするには、Fiery Account が必要です。

Fiery XF server のアップデートのダウンロードおよびインストール

–ソフトウェアメンテナンスおよびサポート契約（SMSA）がある場合、アップデートが使用可能になると、Job Center ウィンドウの右上に青い通知が表示されます。

SMSA の状況は、Server Manager のシステムメンテナンス領域で確認できます。

- 1 すべてのプログラムを終了します。
- 2 タスクバーで **Fiery Server Control** を右クリックし、**Fiery オンラインアップデーター** をクリックします。**Updater** ウィンドウが表示されます。
- 3 **次へ** をクリックします。
現在入手できるソフトウェアアップデートのリストを示すウィンドウが開きます。

- 4 インストールする更新プログラムを選択し、**次へ**をクリックします。
- 5 更新されたファイルをダウンロードし、画面上の指示に沿ってインストールを完了します。
- 6 コンピューターの再起動を要求された場合は、再起動します。

Command WorkStation と Color Profiler Suite のアップデートのダウンロードおよびインストール

Fiery Software Manager で、使用可能なプログラムアップデートを確認することができます。Fiery Software Manager を使用してソフトウェアアップデートをダウンロードするには、Fiery Account が必要です。

- 1 Windows の**スタート**メニューから、**Fiery > Fiery Software Manager** をクリックします。
Fiery Software Manager が起動します。**Fiery ワークフローアプリケーション**ウィンドウに、インストールされている Fiery プログラムと使用可能なダウンロードが表示されます。
- 2 Command WorkStation のアップデートが使用可能な場合は、**アップデートでアップグレード**をクリックします。
- 3 **サインイン**をクリックして Fiery Account のユーザー名とパスワードでサインインするか、**アカウントを作成**をクリックして画面の指示に従ってアカウントを作成し、E メールを認証します。
Fiery Software Manager は Command WorkStation の最新のバージョンをダウンロードしてインストールします。

サーバーにログオンする

Fiery proServer にインストールされている Fiery XF server にログオンする必要があります。Fiery XF server への接続をセットアップすると、コンピューターを再起動するたびに、Command WorkStation が自動的にそのサーバーにログオンします。

作業の開始前：Fiery XF server が実行されていることを確認します。タスクバーにある Fiery Server Control アイコンは、サーバーが実行中の際は緑色の背景に白い矢印を表示します。

通常、ソフトウェアはインストール完了後に自動的に起動します。Command WorkStation がまだ起動していない場合は、Fiery Server Control をクリックし、ウィンドウの右上にある白い矢印が付いた緑色のアイコンをクリックします。

- 1 「ようこそ」画面で**追加 (+)** ボタンをクリックします。
- 2 リストから Fiery XF server を選択するか、サーバー名または IP アドレスを入力します。続いて、**追加**をクリックします。
- 3 管理者ユーザーを選択し、管理者パスワードを入力します。次に、**ログイン**をクリックします。
Fiery proServer のシステム管理者のパスワードは、Fiery サーバーの背面に貼り付けられたラベルに記載されています。システム管理者のパスワードは、ラベルに印刷されたシリアル番号です。

これで、メディアプロファイルをダウンロードし、プリンターを追加できるようになりました。

メディアプロファイルをインストールする

メディアプロファイルは、印刷する際に必要になります。最新のメディアプロファイルを **Fiery Server Control** からダウンロードすることができます。

メディアプロファイルには、特定のメディアに対するプリンターのカラー再現プロパティが記述されています。カラー再現プロパティは、メディアタイプ、インクの種類、印刷条件の組み合わせによって定義されます。

- 1 タスクバーで **Fiery Server Control** を右クリックし、**Fiery プロファイルアップデートター** をクリックします。
プロファイルアップデートサービスウィンドウが開きます。
- 2 **次へ** をクリックします。
- 3 **製造元/モデル** で、**EFI VUTEk (Fiery XF 6.5 以降のリニアリゼーション)**、**EFI Matan**、**EFI Reggiani**、**EFI VUTEK (Fiery XF 7.1 以降の FAST DRIVE)**、または **EFI Wide Format** をクリックし、使用しているプリンターのモデルを選択します。
- 4 **メディアプロファイル** で、インストールするメディアプロファイルを選択します。
- 5 **リストのダウンロード** をクリックします (オプション)。
選択したメディアプロファイルのリストを表示できます。リストからメディアプロファイルを追加または削除するには、**プロファイルの追加** をクリックします。
- 6 **ダウンロード** をクリックします。
- 7 **完了** をクリックします。
- 8 **Fiery server** を再起動します。

プリンターの追加

ジョブをインポートするには、プリンターを追加する必要があります。ライセンスによって、ソフトウェアで選択できるプリンターが異なります。

- 1 **プリンターの追加** をクリックします。
新規プリンターダイアログボックス が開きます。
- 2 プリンター製造元として、**EFI** を選択します。
- 3 プリンタータイプを選択します。
名前に **FAST DRIVE** が含まれるプリンタータイプが使用可能であれば、常にそれを選択することをお勧めします。**FAST DRIVE** では、**CPU** (中央処理装置) の代わりに **GPU** (グラフィック処理ユニット) を使用してジョブを高速に処理します。以前のバージョンの **Command WorkStation** で作成されたキャリブレーションファイルとの互換性および色の一貫性を確保するために、以前のプリンタードライバーも使用することもできます。
- 4 プリンターの名前を入力します (オプション)。
これは、ソフトウェアで表示される名前です。デフォルトでは、**Command WorkStation** はプリンターのタイプを表示します。デフォルトの名前は上書きすることができます。

5 説明を追加します (オプション)。

たとえば、プリンターの場所やプリンターにセットされている用紙の種類を入力します。

6 **次へ**をクリックします。

7 次のいずれかの方法で、プリンター接続を設定します。

メモ: プリンターに電源が入っている必要があります。電源が入っていないと検出できません。

- EFI VUTEk : [ネットワークプリンターの設定](#) (9 ページ)
- EFI ワイド形式プリンター : [ネットワークプリンターの設定](#) (9 ページ) または [ファイルへの印刷プリンターを設定する](#) (10 ページ)
- EFI VUTEk、EFI Matan、EFI Reggiani プリンター : [ファイルへの印刷プリンターを設定する](#) (10 ページ)
- EFI VUTEk XT または MCORR プリンター : [ネットワークプリンターの設定とプリンターへのファイルのアップロード](#) (9 ページ)

EFI VUTEk プリンターの中には、IP アドレス経由で印刷できるものやファイルに出力できるものもあります。使用しているプリンターで双方向通信がサポートされていて、Command WorkStation でプリンターから状況メッセージを受信する場合は、IP アドレス経由で印刷するようにプリンターを設定します。双方向通信の設定について詳しくは、『Fiery Command WorkStation Help』を参照してください。

8 **完了**をクリックします。

Server Manager ウィンドウが開きます。

これで、ソフトウェアを設定できるようになります。

ネットワークプリンターの設定

IP アドレスを使用してプリンターに接続できます。

- 1 **接続タイプ**では、**IP ネットワーク経由で印刷**を選択し、ネットワーク印刷をサポートするプリンターの IP アドレスを入力します。
- 2 プリンターでデータ転送に使用する TCP/IP プロトコルのタイプを選択します。

ほとんどのプリンターは、RAW プロトコルをサポートしており、ポート 9100 に出力します。LPR プロトコルは、通常 Unix システムが複数のインターフェイスを持つプリントサーバー用に確保されています。このフィールドは空白でも構いません。不明な点がある場合は、使用しているプリンターの取扱説明書を参照するか、システム管理者にお問い合わせください。

メモ: EFI VUTEk プリンターは、ポート 8013 経由で通信します。

ネットワークプリンターの設定とプリンターへのファイルのアップロード

IP アドレスから EFI VUTEk XT または EFI VUTEk MCORR プリンターに接続し、プリンター上のフォルダーに印刷データをアップロードできます。

- 1 **接続タイプ**では、**IP ネットワーク経由で印刷**を選択し、ネットワーク印刷をサポートするプリンターの IP アドレスを入力します。

- 2 JDF エクスポートパスフィールドで、VUTEk プリンターの共有フォルダー /vutek/Integration を指定します。
- 3 VUTEk プリンターの共有フォルダーにアクセスするには、ユーザー名とパスワードのログイン情報を入力します。

メモ: ユーザーネームフィールドを `xjdfintegration`、パスワードフィールドを `Fiery.1` として設定します。

ファイルへの印刷プリンターを設定する

命名形式を定義し、印刷ファイルを保存するエクスポートフォルダーを選択できます。

EFI VUTEk プリンターからの印刷ファイルは、指定の**エクスポート**フォルダーに RTL および GIF 形式で保存されます。GIF ファイルは、VUTEk ユーザーインターフェイスでジョブのプレビューを表示するために使用されます。GIF ファイルは、従来のどのグラフィックスプログラムでも開くことができます。

EFI Matan および EFI Reggiani プリンターからの印刷ジョブは、指定の**エクスポート**フォルダーに個別の TIFF として保存されます。ネットワーク上の**エクスポート**フォルダーを選択する場合は、このフォルダーに対するアクセス権を入力する必要があります。

- 1 **接続タイプ**で、**ファイル出力**を選択します。
- 2 エクスポートパスを定義します (オプション)。

デフォルトのエクスポートパスを使用するか、**選択**をクリックして別のフォルダーを参照します。

- 3 印刷ファイルの命名形式を選択します。

デフォルトの命名形式は、`job order_job name_job ID_tile number_page number_Date` です。カスタム命名形式も定義できます。この形式には、カスタムテキストのほか、次のいずれかの変数を含めることができます。

| 変数 | 説明 |
|--------|--------------|
| %count | カウンター |
| %jobid | ジョブ ID |
| %t | タイル番号 |
| %p | ページ番号 |
| %out | プリンター |
| %cm | カラーモード |
| %job | ジョブ名/ネスティング名 |
| %res | 解像度 |
| %work | ワークフロー |
| %date | 日付 |
| %order | ジョブの順序 |

メモ：2つの変数の間に下線やハイフンなどの区切り記号を追加すると、ファイル名が読みやすくなります。

メディアを設定する

Command WorkStation では、メディアを使用して印刷オプションを定義します。新しいプリンターはそれぞれ1つの汎用メディアで初期設定されています。

適切なメディアプロファイルがインストールされていることを確認します。

- 1 **Server Manager** で：サイドバーで、**プリンター**をクリックし、プリンターを選択します。プリンターのツリー表示で、汎用的なメディアを選択します。**メディア**タブで、**メディア設定**パネルを展開します。
生成されたキャリブレーションで、使用しているプリンターで利用可能なすべてのキャリブレーションファイルのリストが表示されます。このリストが空の場合は、Fiery プロファイルアップdaterを介して適切なメディアプロファイルをダウンロードする必要があります。
- 2 インクの種類やメディア名などのメディア設定を選択します。
キャリブレーションファイルのリストがフィルタリングされ、選択したメディア設定の組み合わせに一致するファイルのみが表示されます。
- 3 **メディア**タブで、**印刷メディア設定**パネルを展開します。
- 4 メディアソースの選択：ロール紙またはシート用紙を選択します。
- 5 メディアフォーマットを選択します。
カスタムメディアフォーマットを定義することもできます。カスタムメディアフォーマットは、プリンターでサポートされる最大メディアサイズより大きくすることはできません。**追加 (+)** ボタンをクリックし、メディアフォーマットを一意の名前で保存します。
- 6 **プリンターおよびワークフローの設定**タブで、**特殊設定**パネルを展開します。
- 7 メディアに組み込むプリンター固有の設定を行います。
- 8 **保存**をクリックします。

その他のメディアの作成について詳しくは、『Fiery Command WorkStation Help』を参照してください。

ワークフローの設定

Command WorkStation では、ワークフローを使用して、ジョブに対するデフォルト設定グループを定義します。新しいプリンターはそれぞれ1つの汎用ワークフローで初期設定されています。

- 1 **Server Manager** の場合：サイドバーで**プリンター**をクリックし、プリンターを選択します。プリンターのツリー表示で、**ワークフロー**の横にある**追加 (+)** ボタンをクリックします。
ワークフローテンプレートウィンドウが開きます。
- 2 **ワークフローのタイプ**で、**プロダクション**を選択します。

3 使用するテンプレートで、EFI インクジェットソリューションワークフローテンプレートを選択します。

各ワークフローテンプレートは、標準または最高の印刷品質について、米国またはヨーロッパで一般に使用されているカラー管理設定で事前設定されています。テンプレートを選択すると、使用が推奨されているアプリケーションと、そのワークフローで処理されるジョブに適用される標準 ICC プロファイルが Command WorkStation に表示されます。

4 ロードをクリックします。**5 Server Manager を閉じます。**

プリンター、用紙、ワークフローの設定が完了したら、最初のジョブをロードできます。ジョブのロード、編集、印刷について詳しくは、『クイックスタートガイド』を参照してください。

ジョブをロードする前に、新しく設定した Fiery proServer システムのバックアップを作成することをお勧めします。詳細は、[Fiery proServer システムのバックアップ/復元](#) (13 ページ) を参照してください。

ワークフローの編集や新規作成について詳しくは、『Fiery Command WorkStation Help』を参照してください。

Fiery proServer システムのバックアップ/復元

Fiery proServer システムのバックアップを使用すると、問題が発生した場合に、Fiery proServer を以前の状態に復元できます。出荷時の設定に戻す必要はありません。

システムソフトウェアのバックアップおよび復元には、Fiery System Tools を使用できます。必要に応じて、メディアパック付属の USB メディアからシステムソフトウェアを再インストールすることもできます。

Fiery System Tools

Fiery System Tools には、Fiery proServer システムを管理するためのツールが用意されています。

Fiery System Tools には、次のメニューがあります。

| コマンド | 説明 |
|------------------------|--|
| システムをバックアップ | HDD のバックアップを、USB ドライブ、外付け HDD、ネットワーク上の場所などのデータ保存メディアに保存します。また、バックアップは、ローカル HDD のサブフォルダーに作成することもできます。 |
| バックアップ履歴を表示 | 作成したバックアップの日時を表示します。 |
| 以前のバックアップからシステムを復元 | HDD 上のすべてのデータを削除し、Fiery proServer をバックアップから以前の状態に戻します。 |
| 工場出荷時のデフォルト設定に復元 | HDD 上の隠しパーティションから Fiery proServer を再インストールします。この操作により、システムデータはすべて失われます。 |
| 以前のシステムで作成したバックアップを復元 | 新しい Fiery proServer に既存のバックアップを復元します。 |
| システムリカバリメディアを作成 | システムの回復パーティションのブート可能コピーを、USB ドライブや外付け HDD などのデータ保存メディアに保存します。システム回復を使用すると、Fiery proServer を以前の状態に戻すことができます。たとえば、HDD を交換したのに利用可能なバックアップがない場合や、バックアップがネットワークファイル共有として存在する場合に使用します。 |
| システム言語を変更 | オペレーティングシステムとキーボード、Fiery Server Control および Command WorkStation の言語を変更します。 |
| ネットワークファイル共有の設定ファイルを作成 | バックアップと復元のためにアクセス情報を使用して共有ネットワークフォルダーを設定できます。 |
| Eメール通知を設定 | インストール、バックアップ、復元が完了した時点で Eメール通知が送信されるように設定できます。このような処理には、1 時間以上かかる場合があります。 |

Fiery proServer システムのバックアップ

Fiery proServer システムの設定が完了した時点でバックアップを作成し、約 3 か月ごとにバックアップを更新することをお勧めします。

- 1 Windows のタスクバーで、**Fiery System Tools** を起動します。
- 2 **システムをバックアップ** をクリックします。
- 3 次のいずれかのバックアップ先を選択します。
 - USB ドライブ
 - 外付け HDD
 - ネットワーク共有
 - ローカルハードディスクドライブのサブフォルダー

メモ：

データストレージメディアには 16 GB 以上（32 GB を推奨）の容量が必要です。また、パーティションは 1 つだけにし、NTFS にフォーマットする必要があります。

- 4 **バックアップに Fiery ジョブファイルを含める** を選択します（オプション）。
ジョブファイルはバックアップできますが、**エクスポート** フォルダー内にある出力ファイルは、そのサイズの制約によりバックアップできないことに注意してください。
- 5 システムバックアップファイルを USB ドライブまたは外付け HDD に作成する場合は、デバイスを Fiery proServer の USB ポートに接続します。
- 6 **次へ** をクリックします。
- 7 **再起動** をクリックします。
システムが Windows に戻ると、バックアップ処理は完了です。

Fiery proServer の復元

Fiery proServer システムは、バックアップの作成時点で最新であったシステム環境を含む、すべての設定が復元されます。

バックアップの作成後に行われた設定は、すべて失われます。使用するバックアップメディアやジョブデータの量によっては、復元に最大 1 時間かかる場合があります。

- 1 以下のいずれかの場所からシステムバックアップファイルにアクセスできることを確認します。
 - USB ドライブ
 - 外付け HDD
 - ネットワーク共有
 - ローカルハードディスクドライブのサブフォルダー
- 2 システムバックアップファイルが USB フラッシュドライブまたは外部 HDD に保存されている場合は、デバイスを Fiery proServer の USB ポートに接続します。

- 3 Windows のタスクバーで、**Fiery System Tools** を起動します。
- 4 **以前のバックアップからシステムを復元**をクリックします。
- 5 復元するバックアップを選択し、**次へ**をクリックします。
ネットワーク共有内にバックアップを作成した場合は、**ネットワークを検索**をクリックします。ネットワーク上の場所とログオン情報を入力し、**OK** をクリックしてサーバーにログオンします。その後、復元するバックアップを選択します。
- 6 **続行**をクリックし、HDD 上のすべてのデータを消去することを確認します。
- 7 画面の指示に従って続行します。
手順が完了すると、Windows が自動的に起動します。バックアップ前に **Fiery server** がすでにライセンスされていた場合は、ライセンスを再アクティベートする必要はありません。

Fiery proServer を工場出荷時の状態に戻す

Fiery proServer を工場出荷時の状態に戻す必要があるのは、たとえば、デフォルトのパスワードを変更してその新しいパスワードを忘れた場合などです。Fiery server のライセンスと、システム環境を含むすべての Command WorkStation 設定が、HDD から削除されます。

再インストールを開始する前に、ライセンスアクティベーションコード (LAC) を書き留めてから、ライセンスをアクティベート解除してください。ライセンスをアクティベート解除しないと、システムソフトウェアの再インストール後にライセンスを再アクティベートできなくなります。ライセンスをアクティベート解除する方法については、『Fiery Command WorkStation Help』を参照してください。

すべての Fiery proServer は、Fiery System Tools アイコンがタスクバーにプレインストールされた状態で出荷されます。このツールを使用すると、システム設定をバックアップおよび復元したり、システムを工場出荷時の状態に戻したりできます。

Fiery proServer Premium を使用している場合は、Fiery System Tools からシステムソフトウェアを再インストールできます。詳細は、[USB メディアキットを使用した Fiery proServer Premium システムソフトウェアの再インストール](#) (15 ページ) を参照してください。

- 1 Windows のタスクバーで、**Fiery System Tools** を起動します。
- 2 **工場出荷時のデフォルト設定に復元**をクリックします。
- 3 **再起動**をクリックし、HDD 上のすべてのデータを消去して復元手順を開始することを確認します。

手順が完了すると、Windows が自動的に起動します。ここでシステムの言語を選択し、Fiery server ライセンスをアクティベートする必要があります。詳細については、『インストールガイド』を参照してください。

USB メディアキットを使用した Fiery proServer Premium システムソフトウェアの再インストール

USB メディアキットを使用してシステムソフトウェアを再インストールすることが出来ます。

再インストールを開始する前に、ライセンスアクティベーションコード (LAC) を書き留めてから、ライセンスをアクティベート解除してください。ライセンスをアクティベート解除しないと、システムソフトウェアの再インストール後にライセンスを再アクティベートできなくなります。ライセンスをアクティベート解除する方法については、『Fiery Command WorkStation Help』を参照してください。

以下に説明する手順は、Fiery proServer Premium 用です。USB メディアキット付属の USB ドライブを、USB 3.0 ポートのいずれかに接続する必要があります。Fiery proServer Premium システムソフトウェアの再インストールには最大 1 時間かかります。

メモ：システムソフトウェアを再インストールすると、システム管理者パスワードはシリアル番号にリセットされます。シリアル番号は、Fiery サーバーの背面に貼り付けられたラベルに記載されています。システム管理者のパスワードは、ラベルに印刷されたシリアル番号です。

1 次のいずれかを行います。

- Fiery proServer Premium を実行中の場合は、Command WorkStation を終了します。USB メディアキット付属の USB ドライブを、USB 3.0 ポートのいずれかに接続し、Fiery proServer Premium をリブートします。
- Fiery proServer Premium がフリーズするか応答しない場合は、システムの電源がオフになるまで、前面パネルにある電源ボタンを押し続けます。USB メディアキット付属の USB ドライブを、USB 3.0 ポートのいずれかに接続し、電源ボタンを押してシステムの電源を入れます。

システムが USB ドライブから起動するのを待ちます。これには数分かかります。

- 2 ドロップダウンリストボックスから言語を選択します。
ここで選択した言語を使用して、インストール手順が示されます。
- 3 実行する操作を尋ねられたら、**新規インストール**をクリックします。
- 4 **続行**をクリックし、HDD 上のすべてのデータを消去することを確認します。
- 5 画面の指示に従って続行します。

手順が完了すると、Windows が自動的に起動します。ここでシステムの言語を選択し、Fiery server ライセンスをアクティベートする必要があります。詳細については、『インストールガイド』を参照してください。

USB メディアキットを使用した Fiery proServer Core システムソフトウェアの再インストール

USB メディアキットを使用してシステムソフトウェアを再インストールすることが出来ます。

再インストールを開始する前に、ライセンスアクティベーションコード (LAC) を書き留めてから、ライセンスをアクティベート解除してください。ライセンスをアクティベート解除しないと、システムソフトウェアの再インストール後にライセンスを再アクティベートできなくなります。ライセンスをアクティベート解除する方法について詳しくは、『Fiery Command WorkStation Help』を参照してください。

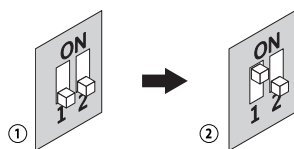
以下に説明する手順は、Fiery proServer Core 用です。USB メディアキット付属の USB ドライブを、Fiery proServer Core のコネクタパネルの USB 3.0 ポートのいずれかに接続する必要があります。Fiery proServer Core システムソフトウェアの再インストールには最大 1 時間かかります。

メモ：システムソフトウェアを再インストールすると、システム管理者パスワードはシリアル番号にリセットされます。シリアル番号は、Fiery サーバーのコネクタパネルに貼り付けられたラベルに記載されています。システム管理者のパスワードは、ラベルに印刷されたシリアル番号です。

メモ：USB メディアキットを使用して再インストールすると、プリンターに関連するすべてのソフトウェアと設定が消去されます。プリンターサービスプロバイダーの助けを借りて Fiery proServer Core システムソフトウェアを再インストールすることを強くお勧めします。

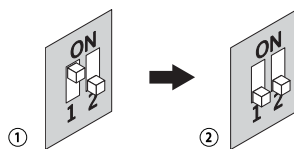
- 1 次のいずれかの操作を行います。
 - Fiery proServer Core を実行中の場合は、Command WorkStation を終了して Fiery proServer Core をシャットダウンします。
 - Fiery proServer Core がフリーズするか応答しない場合は、システムの電源がオフになるまで、コネクタパネルにある電源ボタンを押し続けます。
- 2 準備した USB フラッシュドライブを Fiery proServer Core のコネクタパネルの USB 3.0 ポートのいずれか 1 つに接続します。
- 3 サービススイッチを起動モードに設定します。

図 1: サービススイッチ (起動モード)



- 1 サービススイッチの位置を通常モードから...
- 2 起動モードの位置
- 4 もう一度電源ボタンを押して、システムの電源をオンにします。
システムが USB ドライブから起動するのを待ちます。これには数分かかります。
- 5 メニューから言語を選択します。
ここで選択した言語を使用して、インストール手順が示されます。
- 6 実行する操作を尋ねられたら、**新規インストール**をクリックします。
- 7 **続行**をクリックし、HDD 上のすべてのデータを消去することを確認します。
- 8 画面の指示に従って続行します。
- 9 インストールが完了したら、Fiery proServer Core をシャットダウンし、サービススイッチを通常モードに設定します。

図 2: サービススイッチ (通常モード)



- 1 サービススイッチの位置を起動モードから...
- 2 通常モードの位置

手順が完了すると、Windows が自動的に起動します。ここでシステムの言語を選択し、Fiery proServer Core ライセンスをアクティベートする必要があります。詳細については、『インストールガイド』を参照してください。

ウイルス対策ソフトウェア

Fiery proServer には、アンチウイルスソフトウェアがプリインストールされていません。顧客との間でファイル交換が定期的に行われる生産環境では、任意のウイルス対策プログラムをインストールすることを強くお勧めします。

ウイルス対策プログラムをインストールする際は、**Command WorkStation** の特定の機能に必要なネットワークポートがブロックされていないことを確認します。詳細については、『インストールガイド』を参照してください。

Fiery proServer のトラブルシューティング

Fiery proServer が意図したとおりに動作していない場合は、インストールと接続が正しく行われていることを確認します。本書では、設定およびネットワークに関する一般的な問題が発生した場合の解決策を示しています。

Fiery proServer の設定および接続を確認しても解決しない場合は、システムソフトウェアの破損が問題の原因になっている可能性があります。その場合は、Fiery proServer システムを以前の状態に復元します。詳細は、[Fiery proServer を工場出荷時の状態に戻す](#) (15 ページ) を参照してください。

Fiery proServer または Command WorkStation で作業中に問題が発生した場合は、Fiery コミュニティ (<https://communities.fiery.com>) をご利用ください。Fiery コミュニティでは、解決策を見つけたり、アイデアを共有したり、Fiery のグローバルなエキスパートコミュニティと製品に関して議論したりできます。

Fiery proServer は正常に起動するか

起動中のビープ音は、メモリに問題があることを示している可能性があります。

4 回のビープ音の後に、3 回のビープ音、1 回のビープ音、および 2 回のビープ音が続けて聞こえた場合は、認定サービス/サポートセンターにお問い合わせください。

Fiery XF server は実行中か

Fiery Server Control アイコンは、Windows のタスクバーにあります。Fiery XF server が実行中の場合は、緑の背景に白い矢印が表示されます。

Fiery Server Control で赤の背景に白いボックスが表示される場合、サーバーが実行されていないことを意味します。この場合は、以下を試します。

- ライセンスが正しくアクティベートされていない可能性があります。LAC の入力を求めるダイアログボックスが表示されます。
- 不正なソフトウェアが Fiery proServer にインストールされていないことを確認します。

サードパーティのアプリケーションはサポートされていないため、システムの問題を引き起こすことがあります。ウイルス対策ソフトウェアを Fiery proServer で使用することはできませんが、ウイルススキャンを実行するのは、Fiery proServer が**アイドル**モード (ジョブの処理や印刷を実行していない状態) の場合だけにしてください。

プリンターへの接続は正しく設定されているか

プリンターにテストジョブを送信して、接続をテストします。
 次の方法を試してください。

- テストジョブを **Command WorkStation** にロードし、プリンターに送信します。
- プリンターを再起動します。
 問題が解決しない場合は、プリンターのテストや修理が必要になることがあります。詳しくは、プリンター付属の取扱説明書を参照してください。
- 問題の原因が特定の印刷ジョブやアプリケーションではないことを確認します。
 - **Command WorkStation** から別のジョブを印刷してみます。
 - 別のアプリケーションからジョブを印刷してみます。

ネットワークが機能しているか

ネットワークに問題があるか、Fiery proServer が正しくネットワークに接続されていない可能性があります。
 次の点を確認してください。

- Fiery proServer がネットワーク上のコンピューターのリストに表示されている。
 Fiery proServer がネットワーク上のコンピューターのリストに表示されていない場合は、ネットワーク上の別のデバイスに同じイーサネットハードウェアアドレスが割り当てられている可能性があります。
- Fiery proServer の DHCP 設定がネットワークの DHCP 設定と一致している。
 モニターに DHCP エラーメッセージが表示される場合は、Fiery proServer が存在しない DHCP サーバーを検索している可能性があります。Fiery proServer で DHCP はデフォルトで有効になっていますが、顧客のネットワークで DHCP が使用されていないことがあります。この場合、Fiery proServer に静的 IP アドレスを設定する必要があります。ネットワークブリッジの詳細については、『インストールガイド』を参照してください。
 問題が解決しない場合は、インターフェイスの接続を確認してください。詳細は、[インターフェイス接続の確認](#) (22 ページ) を参照してください。

隠しファイルを表示する設定が選択されているか

特定のトラブルシューティングのために、ProgramData フォルダー内のファイルにアクセスできる必要があります。

- 1 **コントロールパネル**を開き、小さいアイコンを表示するように設定します。
- 2 **エクスプローラーのオプション**をクリックし、**表示タブ**をクリックします。
- 3 **詳細設定**で、**ファイルおよびフォルダー > ファイルとフォルダーの表示**を選択し、**隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する**をクリックします。
- 4 **登録されている拡張子は表示しない**の選択を解除します。

- 5 **OK** をクリックして変更を確定します。

JobFolder フォルダーは共有されているか

ホットフォルダーにアクセスできるようにするには、JobFolder フォルダーを共有する必要があります。

- 1 **JobFolder** を右クリックし、**プロパティ** をクリックします。
JobFolder は C:\ProgramData\EFI\EFI XF\Server にあります。
- 2 **共有** タブで、**詳細な共有** をクリックします。
- 3 **このフォルダーを共有する** を選択し、**アクセス許可** をクリックします。
- 4 **Everyone** を選択し、アクセス許可のレベルを **読み取りおよび変更** に設定します。次に、**適用** をクリックします。
- 5 **OK** をクリックして変更を確定し、すべてのウィンドウを閉じます。

出力フォルダーまたはエクスポートフォルダーが共有されているか

Fiery proServer からの印刷ファイルをプリンターが取得できるようにするために、出力フォルダーおよびエクスポートフォルダーを共有する必要があります。

どちらのフォルダーが使用されるかは、設定したプリンターによって異なります。多くの EFI プリンターでは、エクスポートフォルダーに印刷ファイルを作成するのに対して、その他の製造元のプリンターでは、ほとんどの場合、出力フォルダーに印刷ファイルを作成します。

- 1 フォルダーを右クリックし、**プロパティ** をクリックします。
Fiery proServer のモデルに応じて、フォルダーの場所は D:\ または E:\ ドライブになります。
- 2 **共有** タブで、**詳細な共有** をクリックします。
- 3 **このフォルダーを共有する** を選択し、**アクセス許可** をクリックします。
- 4 **Everyone** を選択し、アクセス許可のレベルを **読み取りおよび変更** に設定します。次に、**適用** をクリックします。
- 5 **OK** をクリックして変更を確定し、すべてのウィンドウを閉じます。

インターフェイス接続の確認

Fiery proServer の背面の接続不良が原因で問題が発生しないようにするための簡単なチェックを実行できます。

次の点を確認してください。

- システムのすべてのコンポーネントおよびインターフェイスケーブルが、Fiery proServer の背面にある適切なポートにしっかりと接続されていること。接続を確認したら、Fiery proServer をリブートします。

Fiery proServer の背面にある適切なポートと接続の図については、『インストールガイド』を参照してください。

- 電源ケーブルがコンセントに差し込まれ、Fiery proServer の電源がオンになっていること。

詳細については、『インストールガイド』を参照してください。Fiery proServer が起動しない場合は、電源ケーブルを新品またはテスト済みのケーブルに交換してみます。

- ネットワークポートの横にある上部 LED ランプが点灯または点滅して、ネットワークが作動していることを示していること。

上部 LED が消灯している場合は、ネットワークケーブルが、Fiery proServer の正しいネットワークポートおよびカスタマーのネットワーク上のネットワークデバイスに正しく接続されていることを確認します。問題が解決しない場合は、ネットワークケーブルを新品またはテスト済みのケーブルに交換してみます。